

平成27年度 第1回倉吉市青少年問題対策協議会

倉吉市の小中学生の問題行動及び不登校に対する状況についてと、倉吉市のいじめ未然防止及び対応について協議しました。

○日 時 平成27年8月18日(火)
午後3時～5時

○場 所 市役所本庁舎 第1会議室

○内 容

1 開 会

開会あいさつ

2 事務局説明

- (1) 倉吉市小中学校の生徒指導上の実態の概要
- (2) 倉吉市立小中学校のいじめ問題対応の状況について
- (3) 倉吉市のいじめ状況について

3 協 議

【倉吉市のいじめの未然防止及び対応について】

(主な意見)

- いじめについては、さまざまな部分を担任だけで解決するのは大変だろうし、周りがどの程度関われるのかが大きなポイントだと思う。先生方は自分のクラスだけでも大変なのに、お互いに共有・話し合い・理解するということまで手がまわらない。学校内でしっかり対応できる術があったらよいと思う。
- 小中学校でも、人との関わりについてのスキルトレーニングをスクールカウンセラーも関わりながらするとよいのではないかな。よい人間関係を築くとかできなければ我慢をするといったような考え方ではなく、相手に自分のことを理解してもらえスキルを身につけることが大切なのではないか。また、悲しかったら泣く等の表現について、それをいけないことと思わせることの方が子どもたちの困り感を増やしているように思う。素直な表現であることを認めていくことが大切である。
- 小さいときからあまり折り合いを付けていないのではないかな。親や周りがさせていない。けんかもさせていない。その年齢にあわせて成長していくように小さいときにどう育てるか。一対一の関係は作れるが、3人になると関係を作れない子どもがいる。幼児期(5歳くらいまで)に三者関係が作られると言われているので、それまでに関係の作り方ができるようになっていないといけない。
- やはり地域性。何が地域で重要なのかというと、結局は、町や地域のコミュニティにいきつく。雰囲気「いじめをさせない」とか「周りから見られていて息苦しい」のではなく、開放感をもちながらみんなが参加できるような行事をすることで、時間はかかるが最終的にはよい関係づくりができていくと思う。等

4 その他

5 閉 会

